第１号様式（第５関係）

基 準 緩 和 認 定 申 請 書 （ 新 規 ）

東北運輸局長　殿

年　月　日

道路運送車両の保安基準第５５条の規定に基づき、基準緩和の認定を受けたいので、別紙を添えて申請します。

申請者の氏名又は名称 （法人の場合は代表者）	
申請者の住所	

申請する自動車の情報

車名及び型式	
種別及び用途	
車体の形状	
車台番号	
使用の本拠の位置	
構造又は使用の態様の特殊性	
認定を必要とする理由	

認定により適用を除外する保安基準の条項	認定により適用を除外する保安基準の内容

（日本産業規格Ａ列４番）

備考

１．型式については、必要に応じて類別区分番号を記載する。

２．車台番号については、打刻がない自動車の場合は、製造番号を括弧書きで記載する。

３．認定を必要とする理由については、使用の条件を含めて記載する。なお、第３第２２号に規定する自動車にあっては、「災害応急対策又は災害復旧の内容」について記載する。

４．一括緩和申請の場合は、標題に「（一括）」と付記するとともに、車台番号又は製造番号については開始番号を記載する。

第１号様式別紙

基準緩和認定申請書別紙（新規）

自家用又は事業用の別	□自家用　□事業用	
使用者の事業内容	□運送業　□建設業　□その他（　　）	
車両管理責任者	（役職）　　（氏名）	
通行許可事前確認の有無	□有　□無	
	有の場合 始点：	道路管理者名及び連絡先
主な運行経路		終点：
	□別紙図有　□特殊車両通行許可の経路に同じ	

宣誓事項

チェック欄	申請に当たり宣誓する内容
□	基準緩和自動車の認定要領について（依命通達）（平成９年９月１９日付け自技第１９３号）の第４第３項に該当する処分を受けていません。

誓約事項

チェック欄	申請に当たり誓約する内容
□	認定に際し付された条件並びに保安上及び公害防止上の制限を遵守します。違反した場合（当該自動車を相互に使用する場合を含む。）は、保安基準緩和の認定の取消処分等を受けようとも異議申し立ては致しません。
□	運行に当たっては、道路運送車両法、道路運送法、貨物自動車運送事業法、道路交通法、道路法その他の関係法令を厳守します。
□	重大事故時には、遅滞なく通報します。
□	認定により適用を除外する保安基準の条項以外については、保安基準に適合しています。
□	（一括緩和の場合） 使用者に対し、上欄までの誓約事項を周知します。
□	（その他、誓約する事項がある場合は適宜記載する。）

（日本産業規格Ａ列４番）

備考

１．通行許可事前確認は第３第２号、第３号、第６号（第３第２号、第３号の自動車をけん引することができるものに限る）、第２０号の自動車で車両総重量及び軸重等の緩和が必要な場合に記載する。

２．主な運行経路については、第１１、第１２、第１５、第１６、第１７、第１８、第１９の自動車及び東北運輸局長が審査において必要と認めた自動車の場合に記載し、図を添付する。

３．第１５、第１８、第１９、第２０の自動車については、誓約事項のチェック欄に記入されたものをもって、遵守事項の誓約に関する書面にとする。

４．一括緩和の場合、宣誓事項及び誓約事項以外の記載は不要。

第２号様式（第５関係）

基　準　緩　和　認　定　変　更　届　出　書

東北運輸局長　殿

年　月　日

基準緩和認定を受けた自動車について記載事項が変更となりましたので届出します。なお、基準緩和認定を受けた自動車の管理体制に変更はありません。

届出者の氏名又は名称 （法人の場合は代表者）	
届出者の住所	

届出する自動車の情報

基準緩和認定番号	
認定年月日	年　　月　　日
自動車登録番号	
車台番号	

届出の内容

変更の内容	変更後の内容
変更年月日	
□ 氏名又は名称	
□ 使用の本拠の位置	
□ その他	

（日本産業規格Ａ列４番）

備考

１．継続緩和を受けた自動車について、安全性優良事業所認定のある事業所から安全性優良事業所認定のない事業所に使用の本拠の位置を変更した場合は、届出後、遅滞なく第５第１項の申請をすること。

第４号様式（第９関係）

基 準 緩 和 認 定 申 請 書 （ 継 続 ）

東北運輸局長　殿

年　月　日

道路運送車両の保安基準第５５条の規定に基づき、引き続き基準緩和の認定を受けたいので、別紙を添えて申請します。

申請者の氏名又は名称（法人の場合は代表者）	
申請者の住所	

申請する自動車の情報

車名及び型式	
種別及び用途	
車体の形状	
自動車登録番号	
車台番号	
使用の本拠の位置	
構造又は使用の態様の特殊性	
認定を必要とする理由	
変更事項の有無	

認定により適用を除外する保安基準の条項	認定により適用を除外する保安基準の内容

（日本産業規格Ａ列４番）

備考

１．認定を必要とする理由については、使用の条件を含めて記載する。

第４号様式別紙

基準緩和認定申請書別紙（継続）

自家用又は事業用の別	□自家用　□事業用
使用者の事業内容	□運送業　□建設業　□その他（　　）
車両管理責任者	（役職）　　（氏名）
安全性優良事業所認定の有無	（事業用の場合）　□有　　□無

誓約事項

チェック欄	申請に当たり誓約する内容
□	認定に際し付された条件並びに保安上及び公害防止上の制限を遵守します。違反した場合（当該自動車を相互に使用する場合を含む。）は、保安基準緩和の認定の取消処分等を受けようとも異議申し立ては致しません。
□	運行に当たっては、道路運送車両法、道路運送法、貨物自動車運送事業法、道路交通法、道路法その他の関係法令を厳守します。
□	重大事故時には、遅滞なく通報します。
□	認定により適用を除外する保安基準の条項以外については、保安基準に適合しています。
□	（安全性優良事業所の場合）本申請の認定審査期間中に、安全性優良事業所の認定について失効又は返納した場合は、遅滞なく報告します。
□	（その他、誓約する事項がある場合は適宜記載する。）

（日本産業規格Ａ列４番）

備考

１．第１５、第１９の自動車については、誓約事項のチェック欄に記入されたものをもって、遵守事項の誓約に関する書面とする。

参考１（別表第１関係）

年　　月　　日

東北運輸局長　殿

証明者の氏名又は名称
住　　所

最高速度証明書

弊社が製作した下記自動車について、道路運送車両の保安基準第５５条の規定に基づく基準緩和の認定申請に際し、設計上の最高速度が１００km/h 以下であることを証明します。

記

自動車登録番号	
車台番号	
車名	
型式	
類別	
設計上の最高速度	

会社名
氏名
連絡先

備考
(1)　証明者の氏名については、自動車製作者の代表者とする。
(2)　証明者の氏名については、自動車製作者が証明者として特に認めた場合には、その者の証明とすることができる。

参考２（別表第１関係）

年　　月　　日

東北運輸局長　殿

氏名又は名称
住　　所

最高速度計算書

下記自動車について、道路運送車両の保安基準第５５条の規定に基づく基準緩和の認定申請に際し、計算上の最高速度が１００km/h以下であることを証明します。

記

自動車登録番号	
車台番号	
車名	
型式	
類別	
原動機型式	
原動機最高回転数	
最高変速段減速比	
最終減速比	
タイヤの動的荷重半径	
設計上の最高速度	

添付資料

新型諸元表（要目表、走行性能曲線図、変速機諸元表、差動機諸元表）

備考

(1)　申請者の氏名については、申請者が法人である場合は、法人の代表者とする。

(2)　装置等の変更により本書を提出する場合には必ず装置等の変更の事実が分かる書面を添付すること。

様式５（取消申請）

基準緩和認定の取消申請書

年　　月　　日

東北運輸局長　殿

申請者の氏名又は名称
住　　所

＿＿＿＿年＿＿月＿＿日付け東自技第＿＿＿号により基準緩和認定された下記の自動車について、別添認定書を添えて基準緩和認定の取消を申請いたします。

記

１　車名及び型式

２　種別及び用途

３　自動車登録番号（車台番号）

４　取消の理由

５　基準緩和認定番号
　　認定年月日

担当者氏名　＿＿＿＿＿＿＿＿

連絡先電話番号　＿＿＿＿＿＿＿＿

様式６（再交付申請）

基準緩和認定書再交付申請書

年　　月　　日

東北運輸局長　殿

申請者の氏名又は名称
住　　所

下記の自動車について、基準緩和認定書の再交付の申請を行いたいので、別添の書類を添えて申請します。

記

１　車名及び型式

２　種別及び用途

３　自動車登録番号（車台番号）

４　再交付の理由

５　基準緩和認定番号
　　認定年月日

担当者氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿

連絡先電話番号 ＿＿＿＿＿＿＿＿